

第4学年 算数科年間指導計画（175時間 ①60②80③35）

* は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

月	単元・教材名	学習目標・学習活動	時数	評価規準	関連・系統
4 (10)	●算数をはじめよう！ ／ペントミノ 算数をはじめよう！／ 算数で使いたい考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。 ・「算数をはじめよう！」及び「算数で使いたい考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	1	【知技】 ・問題解決の進め方を理解している。(2時間同評価規準)	
	ペントミノ	・同じ大きさの正方形を5枚つなげた形(ペントミノ)を、筋道を立てていろいろ見つける。また、ペントミノのうち、ふたのない箱になる形を見つける。	1	【思判表】 ・正方形を5個つなげた形のいろいろな場合について、筋道を立てて考えたり表現したりしている。 【態】 単元を通じて評価する ・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。	
	1 大きな数【8】 億と兆	①千億の位までの数のよみ方、表し方、億の位の数の構成と位取りのしくみを理解する。 ・「いろいろな国の人口をよんでみよう！」の活動をきっかけに、既習の範囲を超える数に関心をもつ。 ・日本の人口のよみ方を調べることをとおして、一億の位までの数のよみ方、表し方を知る。 ・世界の人口のよみ方を調べることをとおして、千億の位までの数のよみ方、表し方、数の構成を知る。	1	【知技】 ・千億の位までの数の構成と位取りのしくみを理解し、表すことができる。 【思判表】 ・十進位取り記数法のしくみを統合的に捉え、千兆の位までの数の比べ方や表し方、相対的な大きさを考えている。(④まで同評価規準) 【態】 単元を通じて評価する ・既習の数の見方や表し方などをもとに、大きな数のしくみについて主体的に考えたり、生活や学習でみられる大きな数を進んで理解しようとしていたりしている。	3年 81000より 大きい数 152けたの数のかけ算 4年 6がい数 5年 1 整数と小数
		②千兆の位までの数のよみ方、表し方、兆の位の数の構成と位取りのしくみを理解する。 ・光が1年間に進む距離を調べることをとおして、千兆の位ま	1	【知技】 ・千兆の位までの数の構成と位取りのしくみを理	

	<p>での数のよみ方, 表し方, 数の構成を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数は, 右から 4 桁ごとに区切るとよみやすくなることを知る。 		<p>解し, 表すことができる。</p>	
	<p>③数直線をもとに, 大きな数の構成, 相対的な大きさを理解する。</p> <p>何億どうしの加減計算ができる。また「和」「差」の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線を見て, 34 億の数の構成, 1 億をもとにした相対的な大きさなどを考える。 ・35 億+24 億, 35 億-24 億のような大きい数の計算のしかたを考える。 ・「和」「差」の意味を知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな数の構成や相対的な大きさを理解している。 ・「和」「差」の意味を知るとともに, 1 億などをもとにした加法, 減法の計算ができる。 	
(整数のしくみ)	<p>④10 倍, 100 倍, 1/10 にした数の大きさと表し方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 億 2345 万を 10 倍, 100 倍, 1/10 にした大きさを調べることとおして, 数を 10 倍すると位が 1 桁上がり, 1/10 にすると位が 1 桁下がることを知る。 ・どんな整数も, 0 から 9 までの 10 個の数字で表せることを知る。 <p>[数の区切り] ・数を 3 桁ごとにカンマで区切って表すことがあることを知る。</p>	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数を 10 倍すると位が 1 桁上がり, 1/10 にすると位が 1 桁下がることや, 整数は 0 から 9 までの 10 個の数字で表せることなど, 十進位取り記数法のしくみを理解している。 	
大きな数のかけ算	<p>⑤3 位数×3 位数の乗法の計算ができる。また, 「積」の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・285×127 のような, 3 位数×3 位数の乗法の計算のしかたを考える。 ・「積」の意味を知る。 ・542×307 のような, 十の位に空位のある乗法の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「積」の意味を知るとともに, 3 位数×3 位数の乗法の計算ができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 位数×3 位数の乗法の計算のしかたを, 既習の計算をもとにして考えている。 	
	<p>⑥末位に 0 がある乗法の計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2700×30 や 24 億×20 のような, 末位に 0 がある場合の乗法の計算のしかたを, 数の相対的な大きさをもとに工夫して考える。 <p>[算数メモ]* ・簡単な整数の四則計算の式について, その英語での言い方を知る。</p>	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・末位に 0 がある場合の乗法の計算ができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・末位に 0 がある場合の乗法の計算のしかたを, 数の相対的な大きさをもとに工夫して考えている。 	
学んだことを使おう	<p>⑦大きな数についての量感をもち, 整数のしくみについて理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「10 年は何秒かな?」という目的意識から, 10 年を秒単位に換算する式を考える。また, 8 桁の電卓で計算して桁数が足りなくなる場合に, 整数のしくみを用いて工夫して答えを求める。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな数についての量感をもっている。 	
まとめ	<p>⑧学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 <p>[いろいろな数の表し方をくらべよう!]* (p.156~157) ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的活動として, 古代エジプトで使われていた数の表し方を知る。 ・千兆よりも大きい位の命数法について知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し, 基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大きな数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	★まなびリンク ワークシート「広がる算数: いろいろな数の表し方をくらべよう!」

5 (15)	◎ ふくしゅう① 【2】 * + 2	・第3学年「小数」「2けたの数のかけ算」「□を使った式と図」の復習をする。 ・単元2「わり算の筆算」に関わる既習事項を確認する。	2		
	2 わり算の筆算 【11】 (2けた÷1けたの計算)	①2位数÷1位数の除法の計算のしかたを理解する。 ・「1人分の折り紙は何まいかな？」の活動をきっかけに、 $63 \div 3$ の計算のしかたを振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・ $72 \div 3$ のような、2位数÷1位数の除法の計算のしかたを考える。(p.40～41の「友だちのノートを見よう」も扱う。) [わり算の見積もり] 除法の答えの見積もりのしかたを知る。	1	【知技】 ・2位数÷1位数の除法の計算が、基本的な計算をもとにしてできることを理解している。 【思判表】 ・2位数÷1位数の除法の計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。 (④まで同評価標準) 【態】 単元を通じて評価する。 ・整数の除法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。	3年 4 わり算 7 余りのあるわり算 4年 5 2けたの数のわり算 15 小数と整数のかけ算、わり算 5年 4 小数のかけ算 6 小数のわり算
		②2位数÷1位数の除法の筆算のしかたを理解する。 ・ $72 \div 3$ のような、2位数÷1位数の除法の筆算のしかたを考える。	1	【知技】 ・2位数÷1位数=2位数であまりがない除法の筆算形式を知り、筆算ができる。	
		③2位数÷1位数であまりのある除法の計算ができ、被除数=除数×商+あまりの関係を理解して、計算の確かめに用いることができる。また、「商」の意味を理解する。 ・ $85 \div 3$ のような、あまりのある除法の計算のしかたを考える。 ・あまりのある除法の答えの確かめのしかたを考える。 ・「商」の意味を知る。	1	【知技】 ・2位数÷1位数=2位数であまりのある場合の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。また、「商」の意味を知るとともに、被除数、除数、商、あまりの間の関係について理解し、計算の確かめに用いることができる。	
		④2位数÷1位数で十の位が整除される場合や、十の位に商が立たない場合の除法の計算ができる。また、2位数÷1位数で商の一の位が0になる場合の除法の計算ができる。 ・ $69 \div 3$ のような、十の位が整除される場合や、 $47 \div 9$ のような、十の位の商が立たない場合の除法の計算のしかたを考える。 ・ $83 \div 4$ のような、商の一の位が0になる場合の除法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・2位数÷1位数で十の位が整除される場合や、十の位に商が立たない場合の除法、商の一の位が0になる場合の除法の筆算ができる。	
(3けた÷1けたの計	⑤3位数÷1位数=3位数の除法の計算ができる。	1	【知技】		

算)	<ul style="list-style-type: none"> •600÷3の計算のしかたを100をもとにして考える。 •736÷3のような、3位数÷1位数=3位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・3位数×1位数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 【思判表】 ・3位数÷1位数の除法の計算のしかたを、被除数が2位数の場合の計算をもとに図や式などを用いて考えている。(⑦まで同評価規準) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ⑥3位数÷1位数で商の一の位や十の位に0が立つ除法の計算ができる。 •812÷3や758÷7のような、商の一の位や十の位に0が立つ除法の計算のしかたを考える。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 ・3位数×1位数の計算で繰り上がりのある乗法の筆算ができる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦3位数÷1位数=2位数の除法の計算ができる。 •214÷6のような、百の位に商が立たない3位数÷1位数=2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 ・3位数×1位数で千の位に繰り上がる乗法の筆算ができる。 	
(倍の計算)	<ul style="list-style-type: none"> ⑧倍の意味と求め方について理解を深める。(第一用法) •12mが3mの何倍かを求め、その求め方を図や式を用いて説明する。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 ・整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。 【思判表】 ・倍の問題場面の数量関係について、図や式などを用いて考えている。(⑨まで同評価規準) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ⑨比較量と倍がわかっているときの、基準量の求め方を理解する。(第三用法) •もとにする重さの3倍が18tの場面で、基準量を□tとした式に表し、基準量を求めるしかたを考える。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 ・比較量と倍がわかっている場合に、基準量を求めることができる。 	
(わり算の暗算)	<ul style="list-style-type: none"> ⑩除法の暗算ができる。 •96÷3, 92÷4のような、2位数÷1位数の暗算のしかたを考える。 [いろいろな国の筆算] ・いろいろな国の除法の筆算形式を知る。 [友だちのノートを見てみよう] ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 ・2位数÷1位数の除法の暗算ができる。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「わり算の筆算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
3 折れ線グラフ 【9】	<ul style="list-style-type: none"> ① ②折れ線グラフのよみ方を理解する。 ・「気温の様子を表そう!」の活動をきっかけに、1日の気温の変化の様子をわかりやすく表すことに関心をもつ。 ・変化の様子を表すグラフとして、折れ線グラフのよみ方を知る。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 ・折れ線グラフに表すと、数量の変化の様子をわかりやすく表すことができることなど、折れ線 	<ul style="list-style-type: none"> 3年 6表とぼう グラフ 4年 12 変わり方

		・折れ線グラフの傾きと変化の大きさについてまとめる。		<p>グラフの特徴を理解し、よみ取ることができる。</p> <p>【思判表】</p> <p>・時系列データの時間的な変化に着目し、折れ線グラフに表した数量の変化の特徴や傾向などを考察している。</p> <p>【態】 単元を通じて評価する。</p> <p>・データを分析したりグラフに表したりすることについて、目的意識をもって主体的に考えたり、得られた結論について多面的に捉え考察したりしようとしている。</p>	<p>5年</p> <p>13 割合とグラフ</p> <p>32 つの量の変わり方</p>
6 (20)	(折れ線グラフのかき方)	③④折れ線グラフのかき方を理解する。 2 つの折れ線グラフを同じグラフ用紙に表して、変化の様子を比べることができる。★ ・1 日の気温の変化を表すこととおして、折れ線グラフのかき方を知る。 ・5 月 15 日と 16 日の気温の変化の折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらに関連づけて考察する。	2	<p>【知技】</p> <p>・折れ線グラフのかき方を理解し、表すことができる。また、複数系列の折れ線グラフをよみ取ることができる。</p> <p>【思判表】</p> <p>・目的に応じて、複数系列のグラフを同じグラフ用紙に表したり、目盛りのつけ方を工夫したりするなど、適切なグラフに表す方法を考えている。 (⑥まで同評価規準)</p>	<p>★まなびリンク シミュレーション「折れ線グラフツール」</p> <p>★まなびリンク 資料「各地の過去の気象データ（気象庁）」</p> <p>★まなびリンク ワークシート「広がる算数：コンピュータで折れ線グラフをつくろう！」</p>
		⑤折れ線グラフの途中の目盛りを波線で省略する場合を理解する。★ ・ハムスターの体重調べとおして、折れ線グラフでは途中の目盛りを波線で省略して変化の様子を見やすくする場合があることを知る。	1	<p>【知技】</p> <p>・途中の目盛りを省略することで、変化の様子を見やすくする場合があることを理解している。</p>	
		⑥適切な目盛りの付け方や省略のしかたを考え、折れ線グラフについて理解を深める。★ ・体温の変化を表すのに適した目盛りの付け方や省略のしかたを考える。	1		
		⑦折れ線グラフからよみ取れる変化の様子を、日常の事象と関連づけて捉えることができる。 ・やかんで水を温めたときの温度の変化にあった折れ線グラフを判断する。 ・ヘチマの草丈の折れ線グラフを見て、よみ取れることとよみ取れないことを判断する。	1	<p>【思判表】</p> <p>・折れ線グラフの変化の特徴と具体的な事象とを結びつけ、よみ取れることとよみ取れないことを根拠をもって考察している。</p>	
		⑧棒グラフと折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらに関連づけて考察することができる。 ・「グラフを組み合わせる調べよう！」という目的意識から、気	1	<p>【知技】</p> <p>・棒グラフと折れ線グラフを組み合わせるグラフ</p>	
	学んだことを使おう				

		温と降水量の変化のグラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察する。		の特徴をよみ取ることができる。 【思判表】 ・2つのグラフを関連づけて分析し考察している。	
まとめ		⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [コンピュータで折れ線グラフをつくろう！](p.158)★ ・選択的活動として、コンピュータを使って表を折れ線グラフに表したり、グラフをよみ取りやすく作り直したりする。	1	【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「折れ線グラフ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
■ 油分け【1】		①筋道を立てて考える力を伸ばす。★ ・7dL や 3dL の容器を使って 5dL を量り取る方法を考える。	1	【思判表】 ・7dL や 3dL の容器を使って 5dL を量り取る方法を、筋道を立てて考えている。	★まなびリンク 資料「江戸の数学（国立国会図書館）」
4 角【8】		①②回転した量としての角の大きさの意味、分度器の機能と使い方、角の大きさの単位「度°」を理解する。 ・「三角定規の角をつくろう！」の活動をきっかけに、角の意味について振り返るとともに、いろいろな大きさの角をつくることに興味をもつ。 ・2枚の円を重ねて回す活動をとおして、回転の量としての角の大きさの意味を知り、角の大きさの比較・測定のしかたを考える。 ・角の大きさの単位「度°」を知り、直角=90°を知る。 ・分度器を使った測定のしかたを知る。	2	【知技】 ・角の大きさを回転の大きさとして捉え、その単位「度°」と測定の意味、直角=90°を理解し、分度器を使って角の大きさを測定することができる。 【思判表】 ・角の大きさを、既習の量と測定の場合をもとにして、単位のいくつ分で捉えるしかたを考えている。 【態】 単元を通じて評価する。 ・角の大きさの学習を生かし、身のまわりにある図形を角の大きさに着目して捉えようとしている。	【2年】 9 三角形と四角形 【3年】 13 三角形 【4年】 7 垂直、平行と四角形 【5年】 5 合同と三角形、四角形 15 正多角形と円
		③直角を単位にした角の大きさの表し方を理解する。 三角定規の角を調べ、角の大きさの加法性について理解する。 ・直角を単位にした角の大きさと表し方を知る。 ・三角定規の角の大きさを知る。また、三角定規の角を組み合わせるいろいろな大きさの角を作り、角の大きさは加減計算できることを知る。	1	【知技】 ・直角を単位にした角の大きさの表し方を理解している。また、三角定規の角の大きさを知り、角の大きさの加減計算ができる。 【思判表】 ・角の大きさを加法的にみたり乗法的にみたりするなど、柔軟に考えてい	

		④180° より大きい角度の測定のしかたを考えることができる。 ・180° より大きい角度を, 分度器を使って測定するしかたを考え, 説明する。	1	る。(④まで同評価規準) 【知技】 ・分度器を使って, 180° より大きい角の大きさを測定することができる。	★まなびリンク 動画「角のかき方(右きき)(左きき)」
(角のかき方)	⑤分度器を使って, 角を作図することができる。★ ・分度器を使って, 35° の角を作図する。 ・分度器を使って, 240° の角を作図する。 [直線が交わってできる角度] ・2本の直線が交わってできる角(対頂角)の大きさを調べ, それらが等しくなることを知る。	1	【知技】 ・分度器を使って, 角を作図することができる。		
	⑥分度器を使って, 三角形を作図することができる。 ・1つの辺の長さとお端の角度から, 分度器を使って三角形を作図する。 [算数メモ]* ・時計の針が2回転する角度は720° になることから, 360° より大きい回転角について知る。	1	【知技】 ・分度器を使って, 三角形を作図することができる。		
学んだことを使おう	⑦身のまわりの角の大きさを調べ, 角の大きさについての感覚を豊かにする。 ・「身のまわりの角度を調べよう!」という目的意識から, 角度を測定する道具を作って, 身のまわりの角度を調べる。	1	【知技】 ・角の大きさについての感覚をもち, 身のまわりから角を見いだすことができる。	★まなびリンク ワークシート「広がる算数: 2つの三角定規でできる角度は?」	
まとめ	⑧学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [2つの三角定規でできる角度は?](p.159)★ ・選択的活動として, 2枚の三角定規を組み合わせて, いろいろな角度を作る。	1	【知技】 ・学習内容を理解し, 基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「角」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。		
ふくしゅう②【2】 * + 2	・「大きな数」「折れ線グラフ」の復習をする。 ・単元5「2けたの数のわり算」に関わる既習事項を確認する。	2			
5 2けたの数のわり算【12】 (何十でわる計算)	①何十÷何十や, 何百何十÷何十の除法の計算のしかたを理解する。 ・「80まいの折り紙を分けよう!」の活動をきっかけに, 既習の計算を振り返るとともに, 未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・80÷20のような, 何十÷何十の除法の計算を10をもとにして考える。	1	【知技】 ・何十÷何十, 何百何十÷何十の除法の計算ができる。 【思判表】 ・何十÷何十, 何百何十÷何十の除法の計算のしかたを, 10をもとにして考えている。 (②まで同評価規準) 【態】 単元を通じて評価する。 ・整数の除法の計算のしかたについて, 既習の計算などをもとに粘り強く考えたり, 数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそう	3年 4 わり算 7 あまりのあるわり算 4年 2 わり算の筆算 15 小数と整数のかけ算、わり算 5年 4 小数のかけ算 6 小数のわり算	

7 (15)				としたりしている。
		②何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて理解する。 ・140÷40のような、何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて考える。	1	【知技】 ・何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて理解し、計算ができる。
	(2けた÷2けたの計算)	③④2位数÷2位数の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・85÷21のような、2位数÷2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	2	【知技】 ・2位数÷2位数の除法の商の見つけ方を理解し、筆算ができる。 【思判表】 ・2位数÷2位数の除法の計算のしかたを、既習の計算をもとに考えている。(⑥まで同評価規準)
	(商の見つけ方①)	⑤除数を切り捨てる仮商の見つけ方と、仮商(過大商)の修正のしかたを理解する。 ・94÷32のような、仮商修正が1回ある除法の計算のしかたを考える。 ・61÷13のような、仮商修正が2回以上ある除法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・2位数÷2位数の除法の仮商修正のしかたを理解し、筆算ができる。 (過大商の場合)
	(商の見つけ方②)	⑥除数を切り上げる仮商の見つけ方と、仮商(過小商)の修正のしかたを理解する。 ・87÷17の計算で、仮商を立てるときに除数を切り捨てる場合と切り上げる場合について考えることをとおして、見当をつけた商が小さすぎた場合の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・2位数÷2位数の除法の仮商修正のしかたを理解し、筆算ができる。 (過小商の場合)
	(3けた÷2けたの計算)	⑦3位数÷2位数=1位数の除法の計算ができる。 ・172÷21や268÷35のような、3位数÷2位数=1位数の除法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・3位数÷2位数=1位数の除法の筆算ができる。 【思判表】 ・3・4位数÷2位数の除法の計算のしかたを、被除数が2位数の場合の計算をもとに考えている。 (⑨まで同評価規準)
		⑧3位数÷2位数=2位数の除法の計算ができる。 ・385÷12のような、3位数÷2位数=2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	1	【知技】 ・3位数÷2位数=2位数の除法の商の見つけ方を理解し、筆算ができる。
		⑨4位数÷2位数の除法の計算ができる。 ・6522÷27のような、4位数÷2位数の除法の計算のしかたを考える。 ・2776÷46や3016÷28のような、商に0が立つ除法の計算	1	【知技】 ・4位数÷2位数の除法の筆算ができる。

		のしかたを考える。			
	(わり算のきまり)	<p>⑩被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないことを理解する。</p> <p>・$\square \div \bigcirc = 4$の$\square$と$\bigcirc$にあてはまる数を考え、被除数と除数の関係を考えることをとおして、除法のきまりを知る。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないことを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>・除法に関して成り立つ性質を調べてきまりを見いだすとともに、それを活用して、末位に0がある場合の除法の計算のしかたを工夫して考えている。(⑩まで同評価規準)</p>	
		<p>⑪末位に0がある除法の計算のしかたを理解する。</p> <p>・$3600 \div 90$ や $3800 \div 900$ のような、末位に0がある場合の除法の計算のしかたを、除法のきまりを用いて工夫して考える。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・末位に0がある場合の除法の計算ができる。</p>	
	まとめ	<p>⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <p>・単元のまとめをする。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「2けたの数のわり算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
6	がい数【9】	<p>①概数の意味、概数を用いる目的やよさを理解する。</p> <p>・「本当にぴったりの数なのか？」の活動をきっかけに、図鑑などに載っているぴったりの数値に関心をもつ。</p> <p>・4300種類や46億年前のようなおおよその数についての話し合いをとおして、概数の意味を知る。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・概数の意味や概数が用いられる場合について理解している。</p> <p>【思判表】・日常生活で用いられている数が、概数で表された数かどうかを判断するなど、概数の意味や概数を用いる目的について考えている。</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <p>・概数を用いると物事の判断や処理が容易になるなどのよさに気づき、目的に応じて概数で事象を把握しようとしたり、生活や学習に活用しようとしたりしている。</p>	<p>3年</p> <p>8 10000 より大きい数</p> <p>4年</p> <p>1 大きな数</p> <p>15 小数と整数のかけ算、わり算</p>
		<p>②四捨五入の意味を理解し、四捨五入して「〇の位までの概数にする」ことができる。</p> <p>・マラソン大会の参加者数を概数で表すしかたを数直線をもとに考え、四捨五入して「〇の位までの概数にする」しかたを知る。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・四捨五入の意味を理解し、四捨五入して「〇の位まで」の概数にすることができる。</p>	
		<p>③四捨五入して「上から〇桁の概数にする」ことができる。</p> <p>・四捨五入して「上から〇桁の概数にする」しかたを知る。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・四捨五入して「上から</p>	

8 (10)		④四捨五入して概数にしたときの、もとの数の範囲について理解する。また、「以上」「以下」「未満」の意味を理解する。 ・四捨五入して百の位までの概数にしたときに700になる数の範囲を考える。 ・以上、以下、未満の意味を知り、これらの言葉を用いて数の範囲を表す。	1	○桁」の概数にすることができる。 【知技】 ・以上、以下、未満の意味を理解している。 【思判表】 ・数直線などをもとに、四捨五入によって表した概数のもとの数の範囲について考えている。
	がい数を使った計算	⑤和や差を概数で見積もることができる。 ・買い物の合計金額を見積もる場面で、 $197+128+173$ のような加法を $200+100+200$ とみて、概算する場面があることを知る。	1	【知技】 ・計算の結果のおよその大きさを捉える場面で、概算を用いる場面があることを理解し、和や差を概数で見積もることができる。
		⑥積や商を概数で見積もることができる。 ・代金の合計金額を見積もる場面で、 98×42 を 100×40 、 $6000\div 42$ を $6000\div 40$ とみて、概算する場面があることを知る。	1	【知技】 ・積や商を概数で見積もることができる。
		⑦切り上げ、切り捨ての意味を理解し、目的に応じて用いることができる。 ・買い物をするとき500円で足りるかを考える場面で、それぞれの代金を切り上げて見積もるしかたを知る。 ・買い物をするとき500円以上になるかを考える場面で、それぞれの代金を切り捨てて見積もるしかたを知る。	1	【知技】 ・切り上げ、切り捨ての意味を理解している。 【思判表】 ・切り上げや切り捨てによって表される概数の意味について考え、どのような場合に用いるとよいか判断している。
	学んだことを使おう	⑧目的に合った概数の表し方や使い方を考えることができる。 ・「目標まであと何まい？」という目的意識から、使用済み切手の枚数を概数を用いて棒グラフに表したり、目標の枚数を達成するには約何枚の切手を集めればよいか見積もったりする。 [がい数さがし] ・インターネットや本などで、概数で表されているものを見つける。	1	【思判表】 ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った概数の表し方や使い方を考えている。
	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「がい数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
	■ こわれた電たく 【1】	①乗法に関して成り立つ性質について理解を深める。 ・5のキーを使わないで、 18×25 の答えを表示させる方法を、乗法に関して成り立つ性質などを用いて考える。	1	【思判表】 ・ 18×25 と答えが同じになる式を、乗法に関し

				て成り立つ性質を用いて考えている。	
	◎ ふくしゅう③ 【2】 *+2	・「角」「2けたの数のわり算」「倍の計算」の復習をする。	2		
9 (15)	7 垂直、平行と四角形 垂直と平行【14】 垂直と平行	①垂直の意味を理解する。 ・「写真と同じ場所の地図は？」の活動をきっかけに、写真と地図の道の交わり方や並び方に関心をもつ。 ・地図を見て、直線の交わり方を調べ、垂直の意味を知る。	1	【知技】 ・垂直の意味を理解している。 【思判表】 ・図形を観察する観点として、直線の位置関係に着目している。 (③まで同評価規準) 【態】 単元を通じて評価する。 ・既習の図形の見方などをと、台形、平行四辺形、ひし形の性質や構成のしかたを主体的に考えたり、身のまわりから垂直や平行の関係にあるものや、台形、平行四辺形、ひし形を見つけたりしようとしている。	2年 9 三角形と四角形 3年 13 三角形 4年 4 角 16 立体 5年 5 合同と三角形、四角形 15 正多角形と円 14 四角形や三角形の面積
		②平行の意味、性質を理解する。 ・地図を見て、直線の並び方を調べ、平行の意味を知る。 ・平行な2直線の幅を調べ、2直線の幅ほども等しいことや、2直線をどこまで伸ばしても交わらないことを知る。	1	【知技】 ・平行の意味、及び平行な2本の直線の幅ほども等しくなっていることを理解している。	
		③平行の性質を理解する。 ・平行な直線と交わる直線が作る角の大きさを調べ、平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わることを知る。	1	【知技】 ・平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わることを理解している。	
	(垂直、平行な直線の かき方)	④⑤垂直な直線、平行な直線の作図のしかたを理解する。★ ・方眼を使って、垂直や平行な直線の作図のしかたを考える。 ・1組の三角定規を使って、垂直な直線の作図のしかたを考える。 ・1組の三角定規を使って、平行な直線の作図のしかたを考える。	2	【知技】 ・垂直な直線、平行な直線を作図することができる。 【思判表】 ・垂直、平行の定義や性質をもとに、それらの直線の構成のしかたを考えている。 (⑥まで同評価規準)	★まなびリンク 動画「垂直な直線のかき方(右きき)(左きき)」 ★まなびリンク 動画「平行な直線のかき方(右きき)(左きき)」
		⑥具体物を使って垂直、平行を作り、その意味について理解を深める。 ・紙を折って垂直な直線や平行な直線を作る。 [垂直、平行さがし] ・身のまわりから垂直や平行の関係にあるものを見つける。	1	【知技】 ・紙を折って垂直な直線や平行な直線を構成することができる。	
	四角形	⑦台形、平行四辺形の意味を理解する。 ・ノートにこいた図の中から見つけたいろいろな四角形を、辺	1	【知技】 ・台形、平行四辺形の意味	

	<p>の並び方に着目して分類し、台形、平行四辺形について知る。</p> <p>[算数のミカタ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の特徴を調べるとき、これまでの見方に加えて、辺の並び方(垂直、平行)という観点に着目したことを振り返る。 		<p>を理解している。</p> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四角形について、辺の位置関係に着目して分類し、分類した四角形の特徴を見いだしている。 <p>(思判表については⑨まで同評価規準)</p>	
	<p>⑧平行四辺形の性質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行な2直線を使って台形、平行四辺形をかく。 平行四辺形の辺の長さや角の大きさを調べ、向かい合った辺の長さや角の大きさはそれぞれ等しいことを知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の向かい合った辺の長さ、及び角の大きさはそれぞれ等しいことを理解している。 	
	<p>⑨ひし形の意味、性質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙を4つに折ってかどを切り取ってできる四角形を調べることとおして、ひし形について知る。 ひし形の辺の並び方や角の大きさを調べ、向かい合った辺は平行なことや、向かい合った角の大きさは等しいことを知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひし形の意味を理解している。また、ひし形の向かい合った辺は平行で、向かい合った角の大きさは等しいことを理解している。 	
(いろいろな四角形のかき方)	<p>⑩平行四辺形の作図のしかたを理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の意味や性質をもとに、作図のしかたを考える。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形を作図することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形、台形、ひし形の定義や性質をもとに、それらの図形の作図のしかたを考えている。 <p>(思判表については⑩まで同評価規準)</p>	★まなびリンク 動画「長さの写し取り方(右きき)(左きき)」
	<p>⑪台形、ひし形を作図のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 台形やひし形の意味や性質をもとに、作図のしかたを考える。 円の半径を用いてひし形をかく。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 台形、ひし形を作図することができる。 	
(四角形の対角線)	<p>⑫対角線の意味、四角形の対角線の性質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対角線について知り、いろいろな四角形の対角線の長さや交わり方を調べる。 	1	<p>【知技】・対角線の意味、基本的な四角形の対角線の性質を理解している。</p>	
	<p>⑬平行四辺形や台形の性質をもとに、それらを敷き詰めた図のかき方を考え、理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ形(合同)の平行四辺形や台形を敷き詰めた図のかき方を考える。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形や台形を敷き詰めた図の中にはほかの図形を認めたり、平行線の性質に気づいたりして表現している。 	
まとめ	<p>⑭学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「垂直、平行と四角形」の学習のよさや見方・考え方を振り返って 	

				いる。	
10 (20)	8 式と計算【8】	①()を用いた式の計算順序を理解する。(加法と減法) ・「買い方を式に表そう!」の活動をきっかけに、パンとジュースの買い方の違いを式に表すことに興味をもつ。 ・500円で230円のパンと150円のジュースを買ったときの残金を求める場面を、()を用いて1つの式に表す。	1	【知技】 ・加法と減法の2段階の場面で、()の中をひとまとまりとみて先に計算することを理解している。 【思判表】 ・式をよみ、具体的な場面や思考の筋道を考えている。 (③まで同評価規準) 【態】 単元を通じて評価する。 ・式のよさに気づき、主体的に式に表現したり式の意味を考えたりするなど、生活や学習に活用しようとしている。	3年 1 かけ算のきまり 16 □を使った式と図 4年 11 小数のしくみとたし算、ひき算 5年 4 小数のかけ算
		②()を用いた式の計算順序を理解する。(四則混合) ・1本50円の色鉛筆の赤を12本、青を8本買うときの代金を、()を用いて1つの式に表す。 ・1袋6枚入りのクッキーを3袋買ったときの代金810円からクッキー1枚の値段を求める場面を、()を用いて1つの式に表す。	1	【知技】 ・乗法と加法や、除法と乗法の2段階の場面で、()の中をひとまとまりとみて先に計算することを理解している。	
		③乗法や除法は、()がなくても加法や減法よりも先に計算することを理解する。 ・200枚の折り紙から30枚ずつ5人に配った残りの枚数を、()を用いずに1つの式に表せることを知る。 ・100円の消しゴムと1ダースの480円の鉛筆を半ダース買ったときの代金を求める場面を、()を用いずに1つの式に表せることを知る。	1	【知技】 ・乗法や除法は、()がなくても加法や減法より先に計算することを理解している。	
		④四則の混合した式や、()を用いた式の計算順序についてまとめ、理解を深める。 ・ $6 \times 8 - 4 \div 2$ の式に、()がある場合とない場合の計算順序の違いを比べることをとおして、()を用いた式や四則の混合した式の計算順序についてまとめる。	1	【知技】 ・四則の混合した式や、()を用いた式の計算順序を理解し、正しく計算することができる。	
	(計算のきまり) ⑤乗法と加法、減法の分配法則を理解する。また、既習の計算法則を○、△などの記号を用いた式に表し、理解を深める。 ・切手の代金を求める場面で、 $(100+30) \times 5$ と $100+30 \times 5$ を比べることをとおして、乗法と加法の分配法則を知る。 ・乗法と減法の分配法則をアレイ図を用いて説明する。 ・分配法則、交換法則、結合法則を○、△などの記号を用いた式に表し、数をあてはめて成り立つことを確かめる。	1	【知技】 ・乗法と加法、減法の分配法則を理解するとともに、交換法則や結合法則も含めて計算のきまりを○、△などを用いて一般的な式に表し、○、△などを変量とみて、数をあてはめて調べることができる。 【思判表】 ・四則計算に関して成り立つ性質について、場面や図などをもとに考えて		

				いる。 (⑦まで同評価規準)	
		⑥乗法のきまりと除法のきまりを対比し、理解を深める。 ・ 40×2 と $80 \div 2$ という式について、被乗数や被除数、乗数や除数を 10 倍すると積や商はどのように変わるか調べて、乗除の計算のきまりをまとめる。	1	【知技】 ・被乗数や被除数、乗数や除数を 10 倍したときの積や商の大きさなど、乗法と除法のきまりを対比して理解している。	
		⑦計算のきまりを用いて工夫して計算をすることができる。 ・きりのよい数になるように組み合わせたり、99 を $(100 - 1)$ とみたりするなどの工夫をして、計算をする。	1	【知技】 ・計算のきまりを用いて工夫して計算をすることができる。	
	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [4 つの 4 でいくつができる?](p.160)★ ・選択的活動として、4 つの 4 と演算記号、()を用いて、答えが 0 から 9 になる式を考える。	1	【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「式と計算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	★まなびリンク ワークシート「広がる算数：4 つの 4 でいくつができる？」
	9 面積【12】	①②面積の意味、面積の比べ方、面積の単位「 cm^2 」を理解する。 ・「どの花だんが広いかな？」の活動をきっかけに、3 つの花だんの広さの比べ方に関心をもつ。 ・長方形と正方形の広さを比べることをとおして、面積の比較・測定のしかたや意味について考える。 ・面積の単位「平方センチメートル(cm^2)」を知る。	2	【知技】 ・単位のいくつ分かによって面積を表せることや、面積の意味、面積の単位「 cm^2 」を理解している。 【思判表】 ・面積の意味について長さやかさなどの場合をもとにして考えるとともに、測定の考えを用い、図形を構成する要素に着目することで、長方形や正方形の面積の求め方を見いだしている。 (④まで同評価規準) 【態】 単元を通じて評価する。 ・面積の大きさを数値化して表すことのよさに気づき、面積の単位と計算による求め方について粘り強く考えようとしている。	3年 5 長さ 5年 2 体積 14 四角形や三角形の面積
	(長方形や正方形の面積)	③長方形の面積を計算で求めるしかたを理解する。 ・長方形の面積を計算で求めるしかたを考える。	1	【知技】 ・必要な部分の長さを用いることで、長方形や正方形の面積は計算によって求められることを理解している。	
		④正方形の面積を計算で求めるしかた、及び長方形と正方形	1	【知技】	

	<p>の面積の公式を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正方形の面積を計算で求めるしかたを考える。 ・長方形、正方形の面積を計算で求めるしかたを公式にまとめる。 ・公式の意味を知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・公式が一般的な数量の関係を表していることなど、公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積を公式を用いて求めることができる。 	
(大きな面積の単位)	<p>⑤面積の単位「m^2」と単位を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室のような広いところの面積は、1辺が1mの正方形の面積を単位にして表すとよいことを知り、面積の単位「平方メートル(m^2)」を知る。 ・$1m^2$と$1cm^2$の関係を調べ、$1m^2=10000cm^2$を知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位「m^2」を知り、$1m^2=10000cm^2$の関係を理解している。 	★まなびリンク ワークシート「広がる算数：100 cm^2 の四角形を作ろう！」
	<p>⑥面積の公式は、辺の長さの単位をそろえて用いることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦がcm単位、横がm単位で表されている長方形の面積の求め方を考える。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の公式は、辺の長さの単位をそろえて用いることを理解している。 	
	<p>⑦長方形の面積公式を用いて、面積と1辺の長さから、もう1辺の長さを求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積が2400cm^2で横の長さが60cmの長方形の形をした机の縦の長さを、面積の公式を用いて求めるしかたを考える。 <p>[1m^2の大きさ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1m^2に入る人数を調べることとおして、1m^2の大きさを体感する。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形の面積公式を用いて、面積と1辺の長さから、もう1辺の長さを求めることができる。 	
	<p>⑧面積の単位「km^2」と単位を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位「平方キロメートル(km^2)」を知り、$1km^2=1000000m^2$を知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位「km^2」を知り、$1km^2=1000000m^2$の関係を理解している。 	
	<p>⑨正方形の1辺の長さが10倍になると、その面積は100倍になることを理解する。</p> <p>面積の単位「a, ha」と単位を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正方形の1辺の長さが10倍になると、面積は何倍になるか調べる。 ・面積の単位「アール(a)」を知り、$1a=100m^2$を知る。 ・面積の単位「ヘクタール(ha)」を知り、$1ha=10000m^2$を知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位「a」を知り、$1a=100m^2$の関係を理解している。また、面積の単位「ha」を知り、$1ha=10000m^2$の関係を理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。(⑩まで同評価規準) 	
	<p>⑩長さの単位と面積の単位の間をまとめ、理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位をもとに、面積の単位の間をまとめる。 <p>[面積を調べよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館や教室など長方形や正方形の形をしたものの面積を、予想してから調べる。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位と面積の単位の間を理解している。 	
(面積の公式を使って)	<p>⑪複合図形の面積の求め方を考え説明し、面積の公式についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、図や式、言葉などを用いて説明する。 <p>[友だちのノートを見てみよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、図や式、言葉などを用いて考えたり表現したりしている。 	
まとめ	<p>⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p>	1	<p>【知技】</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 <p>[100 cm²の四角形を作ろう！](p.146～147)★</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択的活動として、面積が25 cm²の4つの直角三角形を組み合わせて、面積が100 cm²の四角形を作る。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「面積」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
11 (20)	10 整理のしかた【6】	<p>①②データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表して特徴を調べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ポスターをはる場所を考えよう！」の活動をきっかけに、1週間のけがの種類とけがをした場所を整理することに関心を持ち、それぞれ落ちや重なりがないように調べて表にまとめる。 けがの種類と場所の2つの事柄がわかりやすくなるように二次元表に表して、その特徴を調べる。 	2	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> データを二次元表に表したり、よんだりすることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> データの特徴や傾向に着目し、落ちや重なりがないように2つの観点から分類整理し、その過程や結果について考えている。(④まで同評価規準) <p>【態】 単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> データを分析したり二次元表に表したりすることについて、目的意識をもって主体的に考えたり、得られた結論について多面的に捉え考察したりしようとしている。 	<p>3年 6表とぼう グラフ</p> <p>6年 12並べ方と 組み合わせ</p> <p>★まなびリンク ワークシート「広がる 算数：統計ま ちがいクイズ にちょうせ ん！」</p>
		<p>③④2つの観点から起こり得る場合を分類整理し、二次元表に表して特徴を調べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の教室の様子を図をもとに、2つの観点から起こり得る場合を考えて、二次元表にまとめる。 	2	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの観点から起こり得る場合を分類整理し、二次元表に表して特徴を調べることができる。 	
	学んだことを使おう	<p>⑤統計的な問題解決の方法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「データを集めて、表やグラフで伝えよう！」という目的意識から、図書室の利用の様子を調べて図書新聞を作る場合を例にして、統計的な問題解決の方法を知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「問題計画-データ分析-結論」といった統計的な問題解決の方法を理解している。 	
	まとめ	<p>⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 <p>[統計まちがいクイズにちょうせん！](p.148)★</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択的活動として、不適切に処理されたグラフや表をもとに導かれた統計的な結論の誤りについて考察する。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「整理のしかた」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
	■ つないだ輪を切つて【1】	<p>①つないだ輪を切つてできる形について、図形の性質に着目して筋道を立てて考え説明し、図形についての感覚を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ大きさの輪を垂直に貼り合わせ、輪の中心に沿って切つてできる形について考える。 輪を大小にした場合や貼り合わせ方を斜めにした場合など、 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> つないだ輪を切つてできる形について、正方形ができた場合をもとに、条件を変えたときにどのような形ができるかを図 	

		条件を変えてできる形について考える。		形の性質に着目して考えている。	
	◎ ふくしゅう④ 【2】 * + 2	・「垂直, 平行と四角形」「がい数」「式と計算」「面積」の復習をする。 ・単元 11「小数のしくみとたし算, ひき算」に関わる既習事項を確認する。	2		
1 1 小数のしくみと たし算, ひき算 【1 3】 0. 1より小さい数	①1/100 の位までの小数のよみ方, 表し方, 数の構成を理解する。 ・「水のかさは何 L かな?」の活動をきっかけに, 0.1L に満たない端数部分のかさの表し方に関心をもつ。 ・1.5L とあと少しのかさを L 単位で表すことをとおして, 0.1L の 1/10 が 0.01L であることを知る。また, 1.5L と 0.08L をあわせてかさを, 1.58L と表すことを知る。	1	【知技】 ・1/100 の位までの小数のよみ方, 表し方, 数の構成を理解している。 【思判表】 ・1 に満たない大きさを表すために 0.1 の単位を作ったときの考えをもとに, 0.01 などの単位を作ること考えている。 (②まで同評価規準) 【態】 単元を通じて評価する。 ・小数のしくみ, 及び小数の加法, 減法の計算のしかたについて, 学習したことを関連づけながら粘り強く考えたり, 振り返ってよりよい方法を見いだそうとしたりしている。	3年 12 分数 14 小数 4年 15 小数と整数のかかけ算, わり算 5年 1 整数と小数 4 小数のかかけ算 6 小数のわり算	
	②1/1000 の位までの小数のよみ方, 表し方, 数の構成を理解する。 ・798m を km 単位で表すことをとおして, 0.01km の 1/10 が 0.001km であることを知る。また, 798m が 0.798km と表すことを知る。	1	【知技】 ・1/1000 の位までの小数のよみ方, 表し方, 数の構成を理解している。		
	③1, 0.1, 0.01, 0.001 の関係を調べ, 小数が整数と同じしくみになっていることを理解する。 ・1, 0.1, 0.01, 0.001 の関係を調べ, 1/10, 1/100, 1/1000 や, 10 倍, 100 倍, 1000 倍になっていることを知る。	1	【知技】 ・1 と 0.1, 0.01, 0.001 の関係を調べ, 小数が整数と同じしくみになっていることを理解している。 【思判表】 ・小数の表し方のしくみや大きさについて, 整数の場合と関連づけて考えている。 (⑥まで同評価規準)		
	④十進位取り記数法をもとに, 小数の位取り(1/100 の位, 1/1000 の位)を理解する。 ・1.816 のしくみを調べることをとおして, 小数の位取り(1/100 の位, 1/1000 の位)と, 整数, 小数の十進数としてのしくみを知る。	1	【知技】 ・十進位取り記数法をもとに, 小数の位取り(1/100 の位, 1/1000 の位)を理解している。		
	⑤数の相対的な大きさ, 小数の大小について理解する。 ・数直線や数の構成をもとに, 1.36 は 0.01 のいくつ分かを考	1	【知技】 ・数の相対的な大きさ,		

	える。 ・小数の大小比較のしかたを考える。		小数の大小について理解している。	
	⑥小数を10倍、 $1/10$ にした数の大きさと表し方を理解する。 ・3.48を10倍、 $1/10$ にした数の大きさを調べることをとおして、小数も10倍すると位が1桁上がり、 $1/10$ にすると位が1桁下がることを知る。	1	【知技】 ・小数も整数と同じくみで表されていて、10倍すると位が1桁上がり、 $1/10$ にすると位が1桁下がることを理解している。	
小数のたし算、ひき算	⑦ $1/100$ の位までの小数の加法の計算のしかたを理解する。 ・ $1.53+2.41$ のような、 $1/100$ の位までの小数の加法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・小数の加法についての理解を深め、 $1/100$ の位までの小数の加法の計算ができる。 【思判表】 ・ $1/100$ の位までの小数の加法及び減法の計算のしかたを、整数の計算のしかたなどと関連づけて考えている。 (⑩まで同評価規準)	
	⑧末尾の位がそろっていない小数の加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・ $1.3+1.62$ のような、末尾の位がそろっていない小数の加法の計算のしかたを考え、小数の加法の筆算のしかたをまとめる。	1	【知技】 ・末尾の位がそろっていない小数の加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	
	⑨和の末位が0になる場合や、整数と小数の加法の計算ができる。 ・ $0.526+0.374$ のような、和の末位が0になる加法の計算のしかたを考える。 ・ $3.72+7$ のような、小数と整数の加法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・和の末位が0になる場合や、整数と小数の加法の筆算ができる。	
	⑩ $1/100$ の位までの小数の減法の計算のしかたを理解する。 ・ $3.89-2.63$ のような、 $1/100$ の位までの小数の減法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・小数の減法についての理解を深め、 $1/100$ の位までの小数の減法の計算ができる。	
	⑪末尾の位がそろっていない小数の減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。また、整数と小数の減法の計算ができる。 ・ $6.4-1.73$ のような、末尾の位がそろっていない小数の減法の計算のしかたを考え、小数の減法の筆算のしかたをまとめる。 ・ $3-0.456$ のような、整数-小数の減法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・末尾の位がそろっていない小数の減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。また、整数と小数の減法の筆算ができる。	
(計算のきまり)	⑫加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを理解する。 ・○、△、□にいろいろな小数をあてはめて、加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを確かめる。	1	【知技】 ・加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを理解している。	
まとめ	⑬学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決するこ	

				とができる。 【思弁表】 ・「小数のしくみとたし算、ひき算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
12 (15)	1 2 変わり方【5】	①②伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べることができる。また、その関係を式やグラフに表すことができる。 ($x+y=a$ の関係) ・「ともなって変わる数を見つけよう！」の活動をきっかけに、身のまわりにある一方が変わると、伴ってもう一方も変わる数量に関心をもつ。 ・18cm のひもで長方形を作るとき、横の長さ縦の長さの関係を表に表し、変化と対応の関係を調べたり、式やグラフに表したりする。(和が一定) [算数のミカタ] ・変わり方のきまりを見つけるとき、伴って変わる数といつも変わらない数を見つけるとい見方をしたことを振り返る。	2	【知技】 ・伴って変わる2つの数量の関係を表に表して調べたり、和が一定の関係を○、△などを用いた式や折れ線グラフに表したりすることができる。 【思弁表】 ・伴って変わる2つの数量を見つけ、表や式、折れ線グラフを用いて変化や対応の特徴を考察している。 (④まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・表や式、グラフに表された変化や対応の特徴を振り返り、それぞれの表し方のよさに気づき、主体的に考察を進めようとしている。	3年 1 かけ算のきまり 5年 3 2つの量の変わり方 14 四角形や三角形の面積 15 正多角形と円
		③伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べることができる。また、その関係を式に表すことができる。 ($y=ax$ の関係) ・1辺が1cmの正方形の厚紙を階段状に並べていくときの、段数と周りの長さの関係を表に表し、変化と対応のきまりを調べたり、式に表したりする。(商が一定)	1	【知技】 ・伴って変わる2つの数量の関係を表に表して調べたり、商が一定の関係を○、△などを用いた式に表したりすることができる。	
		④伴って変わる2つの数量の関係を式に表し、式をもとに表やグラフに表して変化の特徴を調べることができる。 ($y=ax$ の関係) ・30円の菓子を何個か買う場合の個数と代金の関係を式に表し、式をもとに表やグラフに表して変化の特徴を調べる。(商が一定)	1	【知技】 ・伴って変わる2つの数量の関係を○、△などを用いた式に表し、式をもとに表や折れ線グラフに表すことができる。	
	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [つるは何びき?かめは何びき?](p.149)★ ・選択的活動として、緑表紙教科書に掲載されていた「鶴亀算」の問題を考える。	1	【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思弁表】 ・「変わり方」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	★まなびリンク ワークシート「広がる算数：つるは何びき?かめは何びき?」
	1 3 くらべ方【4】	①②2つの数量の関係を捉えるとき、差ではなく割合で捉えることが妥当な場合があることを理解する。	2	【知技】 ・簡単な場合について、	2年 11 かけ算

		<p>・「どちらが値上がりしたのかな？」の活動をきっかけに、大根の値上がりのしかたとキャベツの値上がりのしかたを図に表して比べる。</p> <p>・値上がりのしかたの比べ方を差と倍の見方で考え、それらの方法を対比することとおして、割合の意味を知る。</p>	<p>ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を図や式などに表し、場面にあった比べ方を考察している。</p> <p>【態】 単元を通じて評価する。</p> <p>・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べるような具体的な場面について、その意味や比べ方を粘り強く考えたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。</p>	<p>九九づくり</p> <p>3年</p> <p>4 わり算</p> <p>10 かけ算の筆算</p> <p>4年</p> <p>2 わり算の筆算</p> <p>5 2けたの数のわり算</p> <p>15 小数と整数のかかけ算、わり算</p> <p>5年</p> <p>4 小数のかけ算</p> <p>6 小数のわり算</p> <p>10 単位量あたりの大きさ</p> <p>12 割合</p>	
		<p>③2つの数量の関係が同じ割合になっているものを判断することができる。</p> <p>・ゴムひものもとの長さや伸ばした長さの関係から、あるゴムひもとと同じ伸び方をするゴムひものを判断する。</p> <p>・ゴムひものもとの長さや伸ばした長さの関係から、もとの長さを変えたとき、何cmまで伸びるかを考える。</p> <p>[算数のミカタ]</p> <p>・2つの量の比べ方を考えるとき、差と割合という見方をしたことを振り返る。</p>	1	<p>【思判表】</p> <p>・ゴムひもの伸び方を図や式などに表し、同じ伸び方のゴムひもの見つけ方を割合に着目して考えている。また、同じ割合になるいくつかの数量の組を見いだしている。</p>	
	まとめ	<p>④学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <p>・単元のまとめをする。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「くらべ方」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
	14 そろばん【2】 (数の表し方)	<p>①そろばんによる整数や小数の表し方、10倍、100倍した大きさの数の表し方を理解する。★</p> <p>・十進位取り記数法による数の表し方をもとに、そろばんでの整数や小数の表し方を知る。</p> <p>・そろばんを使って、0.25を10倍、100倍した数を表す。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・そろばんを使って、億や兆の単位までの整数や1/100の位までの小数を表したり、10倍、100倍した大きさの数を表したりすることができる。</p> <p>【思判表】</p> <p>・そろばんには十進位取り記数法のしくみが用いられていることに着目し、大きな数や小数の表し方及び加法、減法の計</p>	<p>3年</p> <p>17 そろばん</p> <p>★まなびリンク シミュレーション「そろばんツール」</p>

				算のしかたを考えている。(②まで同評価規 準) 【態】単元を通じて評価 する。 ・そろばんのしくみのよ さに気づき、大きな数や 小数の計算のしかたを考 えようとしている。	
	(そろばんの計算)	②そろばんを使って、整数どうしの加減計算、大きな数や小 数の加減計算ができる。 ・53+24 のような、整数どうしの加法の計算のしかたを知る。 ・87-64 のような、整数どうしの減法の計算のしかたを知る。 ・基本的な加法、減法の珠の動かし方をもとに、大きい数や小 数の加減計算のしかたを考える。 [数を入れると、おつりが見える?]* ・入っていない珠を見ておつりを判断する方法を知る。	1	【知技】 ・そろばんを使って、整数 どうしの加減計算、大き な数や小数の加減計算が できる。	★まなびリン ク 資料「そ ろばん学習に ついてのペー ジ(日本珠算 連盟)」
	■ 方眼で九九を考え よう【1】	①方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて捉え、分配 法則についての理解を深める。★ ・九九の答えを方眼のます目で表したものを使って、 $5 \times 3 + 5$ $\times 4 = 5 \times 7$ になることを説明したり、九九の総和を求めたりす る。	1	【思判表】 ・分配法則が成り立つこ とや九九の総和の求め方 を、方眼の図をもとに面 積と乗法の式を関連づけ て考えている。	★まなびリン ク シミュレ ーション「九 九の表ツ ール」
	◎ ふくしゅう⑤ 【1】 *+1	・「整理のしかた」「小数のしくみとたし算、ひき算」「変わり方」 の復習をする。 ・単元 15「小数と整数のかけ算、わり算」に関わる既習事項を 確認する。	1		
	15 小数と整数のか け算、わり算【15】 小数に整数をかける計 算	①純小数×整数の乗法の計算のしかたを理解する。 ・「6人分の材料は？」の活動をきっかけに、既習の計算を振り 返るとともに、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。 ・ 0.2×6 のような、純小数×整数の乗法の計算のしかたを考 える。	1	【知技】 ・純小数×整数の乗法の 計算のしかたを理解し、 計算ができる。 【思判表】 ・乗数が整数である場合 の小数の乗法の計算のし かたを、小数の意味や既 習の計算などをもとに図 や式などを用いて考えて いる。(④まで同評価規 準) 【態】単元を通じて評価 する。 ・小数×整数の乗法、小 数÷整数の除法の計算の しかたについて、既習の 計算などをもとに粘り強 く考えたり、数学的に表 現・処理したことを振り 返り多面的に検討してよ りよい方法を見いだそう	3年 1 かけ算の きまり 10 かけ算の 筆算 15 2けたの数 のかけ算 14 小数 4年 1 大きな数 2 わり算の 筆算 5 2けたの数 のわり算 11 小数のし くみとたし 算、ひき算 5年 1 整数と小数 4 小数の かけ算 6 小数の わり算

1 (10)	小数を整数でわる計算	<p>②小数×整数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。</p> <p>・1.2×7 のような、小数×整数の乗法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</p> <p>・2.7×32 のような、乗数が2位数の場合の乗法の計算のしかたを考える。</p> <p>[算数のミカタ]</p> <p>・新しい計算のしかたを考えると、0.1をもとにしたり10倍したりして、整数の計算とみる見方をしたことを振り返る。</p>	1	<p>としたりしている。</p> <p>【知技】</p> <p>・小数×整数の乗法の筆算形式を知り、筆算ができる。</p>
		<p>③小数×整数で、被乗数が1/100の位までの小数の乗法の計算ができる。</p> <p>・1.24×8 のような、被乗数が1/100の位までの小数の乗法の計算のしかたを考える。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・小数×整数で、被乗数が1/100の位までの小数の乗法の筆算ができる。</p>
		<p>④小数×整数で、積の末位が0になる場合や、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法の計算ができる。</p> <p>・1.35×4 のような、積の末位が0になる場合の乗法の計算のしかたを考える。</p> <p>・0.034×17 のような、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法の計算のしかたを考える。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・小数×整数で、積の末位が0になる場合や、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法の筆算ができる。</p>
	<p>⑤小数÷整数の除法の計算のしかたを理解する。</p> <p>・$3.6 \div 3$ のような、小数÷整数の除法の計算のしかたを考える。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・小数÷整数の除法の計算のしかたを理解し、計算ができる。</p> <p>【思弁表】</p> <p>・除数が整数である場合の小数の除法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに図や式などを用いて考えている。(⑧まで同評価規準)</p>	
	<p>⑥小数÷整数の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。</p> <p>・$13.6 \div 4$ のような、小数÷整数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・小数÷整数の除法の筆算形式を知り、筆算ができる。</p>	
	<p>⑦小数÷整数で、商が1より小さくなる場合や、除数が2位数の場合の除法の計算ができる。</p> <p>・$5.4 \div 6$ のような、商が1より小さくなる場合の除法の計算のしかたを考える。</p> <p>・$78.2 \div 23$ のような、除数が2位数の除法の計算のしかたを考える。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・小数÷整数で、商が1より小さくなる場合や、除数が2位数の場合の除法の筆算ができる。</p>	
	<p>⑧小数÷整数で、被除数が1/100の位、1/1000の位までの小数の除法の計算ができる。</p> <p>・$8.67 \div 3$ のような、被除数が1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。</p> <p>・$9.826 \div 34$ のような、被除数が1/1000の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・小数÷整数で、被除数が1/100の位、1/1000の位までの小数の除法の筆算ができる。</p>	
	(わり進むわり算)	<p>⑨わり進む除法の計算のしかたを理解する。</p> <p>・2.6mのリボンを4等分する場面で、わり進んで答えを求める除法の計算のしかたを考える。</p> <p>・$13 \div 4$ のような、整数÷整数でわり進む除法の計算のしかた</p>	1	<p>【知技】</p> <p>・小数÷整数、整数÷整数の除法で、わり進む計算のしかたを理解し、筆</p>

		を考える。		算ができる。 【思判表】 ・2.6を2.60とみたり13を13.00とみたりするなどして、わり進む除法の意味や計算のしかたを考えている。 (⑩まで同評価規準)	
	(商の四捨五入)	⑩わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の計算のしかたを理解する。 ・8mのリボンを3等分する場面で、商を四捨五入して概数で求める除法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	
	(あまりのあるわり算)	⑪小数÷整数の除法のあまりの大きさについて理解する。 ・8.5cmのテープを3cmずつ切る場面で、あまりを出す除法の計算のしかたを考える。	1	【知技】 ・小数÷整数の除法のあまりの大きさについて理解し、筆算ができる。	
	(倍の計算)	⑫何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。(帯小数倍) ・80cmのリボンは40cmのリボンの何倍かを求めることをとおして、倍の計算について振り返る。 ・40cmのリボンと100cmのリボンの長さを比べることをとおして、2.5倍のように何倍かを表す数が帯小数になる場合があることを知る。	1	【知技】 ・何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解している。 【思判表】 ・倍の意味について、図や式などをもとに小数の場合に拡張して考えている。 (⑬まで同評価規準)	★まなびリンク ワークシート「広がる算数：紙を折って富士山をめざそう！」
		⑬何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。(純小数倍) ・80cmのリボンと40cmのリボンの長さを比べることをとおして、0.5倍のように何倍かを表す数が純小数になる場合があることを知る。 [割合が1より小さいとき]* ・2つの数量の関係を割合を用いて表し比べるときに、割合が1より小さくなる場合があることを知る。	1	【知技】 ・何倍かを表す数が純小数になる場合も含めて、小数を用いた倍の意味を理解し、倍を求めることができる。	
2 (15)	学んだことを使おう	⑭身のまわりの事象を数理的に捉え、小数と整数の乗法、除法を活用できる場面を見いだすことができる。 ・「小数のかけ算、わり算の問題をつくろう！」という目的意識から、学校の階段の1段分の高さをもとに1階から3階までの高さを求めるなど、乗法、除法を適用して解決できる場面を探して問題を作り、友だちと問題を解き合う。	1	【思判表】 ・身のまわりの事象を数理的に捉え、小数×整数や小数÷整数の計算が適用できる場面を見いだしている。	
	まとめ	⑮学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [紙を折って富士山をめざそう！](p.150～151)★ ・選択的活動として、厚さ0.1mmの紙を何回折って重ねると富士山の高さを超えるか考える。 [もっと小さい小数]* ・分、厘、毛、…などの小数の位の呼び方を知り、1/1000の位よりも下の位があることを知る。	1	【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「小数と整数のかけ算、わり算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
	16 立体【9】 直方体と立方体	①直方体、立方体の意味を理解する。 ・「箱の形をあてよう！」の活動をきっかけに、箱の特徴を言葉	1	【知技】 ・直方体、立方体の意味を	2年 14 はこの形

	<p>で伝えることをとおして、立体図形の構成要素に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱を面の形に着目して分類し、直方体、立方体について知る。 		<p>理解している。</p> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目して立体図形を仲間分けし、直方体や立方体の性質を考察している。(④まで同評価規準) <p>【態】 単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の図形の見方などをもとに、直方体や立方体の性質や、見取図や展開図の作図のしかたを主体的に考えたり、図形の性質やものの位置の表し方を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 	<p>4年</p> <p>7 垂直、平行と四角形</p> <p>5年</p> <p>2 体積</p> <p>16 角柱と円柱</p>
	<p>②直方体、立方体の構成要素(面、頂点、辺)や、平面の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形や正方形の厚紙を使って直方体、立方体を作り、面の形と数を調べる。 ・直方体や立方体の面、頂点、辺の数を調べ、表にまとめる。 ・「平面」の用語を知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体、立方体の構成要素(面、頂点、辺)やそれらの数、及び平面の意味を理解している。 	<p>★まなびリンク シミュレーション「立体の観察(直方体を辺にそって切り開く)」</p>
(面や辺の垂直、平行)	<p>③④直方体、立方体の構成要素(面、辺)の平行、垂直関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体、立方体の、面と面の平行や垂直を調べる。 ・直方体、立方体の、面と辺の平行や垂直を調べる。 ・直方体、立方体の、辺と辺の平行や垂直を調べる。 	2	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体、立方体の構成要素(面、辺)の平行、垂直関係を理解している。 	<p>★まなびリンク シミュレーション「立体の観察(立方体の展開図)」</p>
(展開図と見取図)	<p>⑤展開図の意味を理解し、直方体の展開図をかくことができる。</p> <p>立方体の展開図から構成要素の関係をよみ取ることができる。★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体を切り開くことをとおして展開図について知り、展開図をかく。 ・展開図を組み立てたときに重なる頂点や辺、平行や垂直になる面の関係について調べる。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体の展開図を作図することができる。また、立方体の展開図から構成要素の関係をよみ取ることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体や立方体の展開図、見取図の作図や観察をとおして、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目している。(⑥まで同評価規準) 	
	<p>⑥見取図の意味を理解し、直方体、立方体の見取図をかくことができる。また、直方体、立方体の大きさを決定する要素について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体、立方体の形を表現する方法として見取図について知り、見取図をかく。 ・直方体の大きさは縦、横、高さの3辺の長さで、立方体の大きさは1辺の長さで決まることを知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直方体や立方体の見取図を作図することができる。また、直方体や立方体の大きさを決定する要素について理解している。 	
位置の表し方	<p>⑦平面上にある点の位置や、空間の中にある点の位置の表し方を理解する。</p>	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの位置を表す際、平 	

	<ul style="list-style-type: none"> 公園の絵図を見て、平面の上にある点の位置を2方向の長さで表す。 空間の中にある点の位置を3方向の長さで表す。 		<p>面上では2つの要素が必要で、空間の中では3つの要素が必要であることを理解し、表すことができる。</p> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面の上や空間の中のものの位置の表し方を考えている。 	<p>★まなびリンク ワークシート「広がる算数：箱を開くとくふうがいっぱい！」</p>
学んだことを使おう	<p>⑧ペントミノから立方体の展開図を考え、面と面のつながりや、立体図形と平面図形の関係について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ペントミノから立方体の展開図を作ろう！」という目的意識から、ペントミノに正方形をもう1枚つなげて、立方体の展開図を考える。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 立方体の構成要素の位置関係などを根拠にして、展開図のそれぞれの面の位置について筋道を立てて考えている。 	
まとめ	<p>⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 <p>[箱を開くとくふうがいっぱい！](p.152～153)★</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択的活動として、身のまわりにある箱に関心を持ち、段ボール箱やケーキの箱が、どのような1枚の平面から作られているのかを知る。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「立体」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。 	
<p>17 分数の大きさとたし算、ひき算【10】</p> <p>1より大きい分数</p>	<p>①1より大きい分数の表し方や、「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道のりは何kmかな？」の活動をきっかけに、既習の分数を振り返るとともに、1より大きい分数に関心をもつ。 1/3kmの5つ分の道のりを表すことをとおして、整数部分の1kmと分数部分の2/3kmをあわせて、1 2/3kmと表すことを知る。 「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を知る。 真分数、仮分数、帯分数を数直線に表したり、同分母の仮分数、同分母の帯分数の大小を比べたりする。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1より大きい分数の表し方や、「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を理解し、数直線を用いて分数の大きさを表すことができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分数の大きさを、数直線や図などで表したり、分数が表された数直線や図をよみ取ったりして、分数の大きさについて判断したり表現したりしている。 <p>(④まで同評価規準)</p> <p>【態】 単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きさの等しい分数、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたについて、学習したことを関連づけながら粘り強く考えたり、振り返ってよりよい方法を見いだそうとしたりしている。 	<p>2年</p> <p>171を分けて</p> <p>3年</p> <p>12 分数</p> <p>5年</p> <p>8 分数の大きさとたし算、ひき算</p> <p>11 わり算と分数</p>
	②帯分数を仮分数で、仮分数を帯分数で表すしかたを理解する。	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯分数を仮分数で、仮分 	

3 (10)		<ul style="list-style-type: none"> ・2 $\frac{3}{5}$ のような帯分数を仮分数で表すしかたを考える。 ・$\frac{11}{5}$ のような仮分数を帯分数で表すしかたを考える。 		<p>数を帯分数で表すことができる。</p> <p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮分数と帯分数の大きさを比べることができる。
	大きさの等しい分数	<ul style="list-style-type: none"> ③仮分数と帯分数の大小比較のしかたを理解する。 ・$\frac{25}{7}$ と $3\frac{5}{7}$ のような仮分数と帯分数の大小比較のしかたを考える。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを理解している。
	分数のたし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ④大きさの等しい分数があることを理解する。 ・面積図を用いて、$\frac{1}{3}$、$\frac{2}{6}$、$\frac{3}{9}$ のように大きさの等しい分数があることを知る。 ・数直線を用いて、いろいろな分数の大きさを調べる。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同分母の分数の加法について理解を深め、真分数や仮分数の加法の計算ができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同分母の分数の加法、減法の計算のしかたを、既習の計算や分数の意味をもとに図や式などを用いて考えている。(⑧まで同評価規準)
		<ul style="list-style-type: none"> ⑤同分母の分数の加法の計算のしかたを理解する。 ・$\frac{4}{5} + \frac{3}{5}$ のような、同分母の分数の加法の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同分母の分数の加法の計算のしかたを理解する。 <p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同分母の帯分数の加法の計算のしかたを考える。 <p>・$1\frac{2}{5} + 2\frac{4}{5}$ のような帯分数の加法で、真分数部分の和が仮分数になる場合の計算のしかたを考える。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ⑥同分母の帯分数の加法の計算のしかたを理解する。 ・$2\frac{1}{5} + 1\frac{3}{5}$ のような、帯分数の加法の計算のしかたを考える。 ・$1\frac{2}{5} + 2\frac{4}{5}$ のような帯分数の加法で、真分数部分の和が仮分数になる場合の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同分母の帯分数の加法の計算ができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ⑦同分母の減法の計算のしかたを理解する。 ・$\frac{7}{5} - \frac{4}{5}$ のような、同分母の減法の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同分母の分数の減法について理解を深め、真分数や仮分数の減法の計算ができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ⑧同分母の帯分数の減法の計算のしかたを理解する。 ・$2\frac{4}{5} - 1\frac{1}{5}$ のような、帯分数の減法の計算のしかたを考える。 ・$3\frac{1}{5} - 1\frac{2}{5}$ のような帯分数の減法で、そのままでは真分数部分がひけない場合の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同分母の帯分数の減法の計算ができる。
	学んだことを使おう	<ul style="list-style-type: none"> ⑨時間を分数を用いて表し、大きさの等しい分数について理解を深める。 ・「時間を分数で表そう！」という目的意識から、時計の文字盤を見て、1分間が$\frac{1}{60}$時間であることを知り、30分間を分数で表すしかたを考える。 	1	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計の目盛りを用いて、分数の意味や大きさの等しい分数の表現に着目して、時間を分数で表すしかたを考えている。
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 	1	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「分数の大きさとたし算、ひき算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
	■ 部分分けパズル	⑪1つの数をほかの数の積とみることや面積についての理解	1	<p>【思判表】</p>

	【1】	を深め、筋道を立てて考える力を伸ばす。 ・指定された面積に部屋を区切るパズルに取り組む。		・1つの数をほかの数の積とみて分解して面積公式を適用するなど、部屋分けパズルの解決のしかたを筋道を立てて考えている。	
	● 算数を使って考えよう (3R スリーアー ル) ★ (教室の面積)	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。 ・リサイクルに関するアンケート結果をまとめた表をもとに、データをよみ取ったり、棒グラフに表したりする。また、市のごみの量と人口に関するグラフを見て、リポーターの話が正しいかどうかを判断し、理由を説明する。 ・教室についてわかっている情報を活用して、教室の面積の求め方を考え、説明する。	2	【思判表】 ・表やグラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。 ・日常の場面から算数の問題を見いだし、面積などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	★まなびリンク 資料「3Rまなびあいブック（環境省）」
	◎ 4年のまとめ 【2】	①②第4学年の学習内容の問題を解決することができる。 ・数と計算、図形、変化と関係、データの活用についての問題に取り組む。	2	【知技】 ・第4学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	